

# 具志川市立田場小学校（沖縄県）

## 1. 地域特性

沖縄では一般に、学校の諸行事等で地域との関わりが多く、日常的な交流も多い。学習活動への地域参加に関しては、シーサー作成等の陶芸活動に地域の人の指導をもらっている。

建物の耐用年数は、塩害等により本土の1/3程度といわれている。



増築された普通教室よりオープンスペースを見る

## 2. 事業の経緯

校区内での県営住宅建設などで、児童数が増加し、教室数不足となった。この機会に生涯学習体系への移行や情報化の進展等、近年の時代変化を踏まえた特色ある新しい学校施設の再生が計画された。文部省の「平成3年度文教施設のインテリジェント化に関するパイロットモデル研究」の委嘱を受け、①既設校の現代化のための増築および改築のあり方 ②教育方法の多様化に対応した、個別化学習の導入のための施設整備のあり方 ③快適な文教施設として、人間性、文化性、地域性及び自然との調和に配慮した教育環境の人間化のあり方 ④地域住民の、多様かつ高度な学習需要に対応した地域開放に関する施設整備のあり方 ⑤幼少連携の施設のあり方 について調査研究を行い、同時に基本設計も進められた。



丸柱より奥が増築された普通教室



教室を改修してできた多目的スペース



廊下との境には冷暖房区画としての間仕切りがある



丸柱より奥が普通教室

### 3. 事業の内容

田場小学校は、既に昭和59年に、学級増に対応した多目的スペースを持つ4教室の鉄筋コンクリート造平屋建ての校舎が増築されているが、学校全体としての現代化には至らなかった。今回上記報告書に基づき、既存校舎の耐震診断が行なわれ、既存校舎の大規模な改修と増築により、教育機能の向上が図られるとともに、生涯学習利用の場が設けられた。結果として、増築と改修を組み合わせた数少ないリニューアル例となっている。以上の特色を以下に示す。

#### ○旧校舎に多目的スペースを付加

すでに1学年分の多目的スペースがある（昭和59年の増築）ことから、残りの5学年分の多目的スペースが設置された。うち、低学年は新校舎を増築して設置したが、中高学年に対応する3つの多目的スペース（学年広場）は、既存校舎の改修と一部増築により設置された。冷房上（航空機の騒音対策により冷房化されている）廊下を多目的スペースに取り込むことはできないこと等から、普通教室間の壁を撤去して多目的スペースに改修され、その南側に普通教室が増築された。

#### ○増築の併用による教室の再配置

低学年棟の増築に伴い、既存校舎の諸室の再配置が実施された。地域の人々の生涯学習での利用も考慮し、図書・コンピューター、学習センターは学校の中心に、音楽教室は外部から利用しやすい場所に設けられた。また、管理諸室は1階にまとめられた。



外観（増築部には勾配屋根が掛けられている）

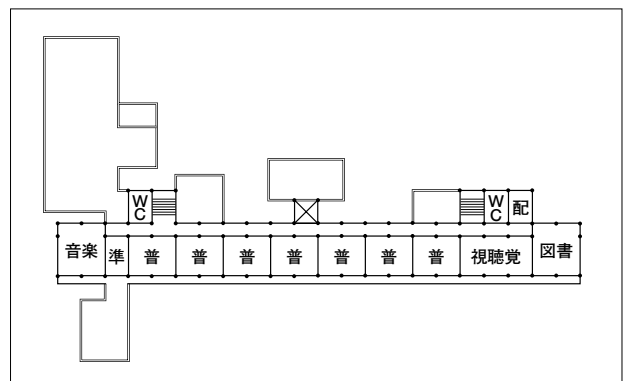
### 4. 成果と課題

改修によりできた多目的スペースは、学年の独立したゾーンづくりに大いに役立っている。

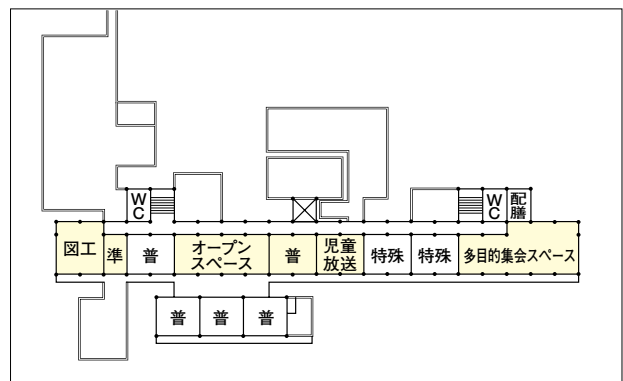
しかし、多目的スペースを囲む既存教室2つは、南側に増築部分があることから、風通しが悪くまた冷房も効きにくい、とのことであった。



広がった図書室（多目的集会スペース）



2階平面図（改修前）



2階平面図（改修後）